

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
I-1	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	001	妊婦・出産ナビゲーション事業	面接率	96.80% (現状:令和2年度末)100% (目標:令和7年度末)	96.7%	「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施していく。「出産子育て応援事業」にて、妊娠期から出産子育てまでの様々なニーズに即した支援につなげた。	健康推進課	順調 96.7%と高い面接率を維持しており、引き続き、要支援者のさらなる把握に努め、切れ目のない子育て支援をめざしていく。
		002	産後ケア事業(訪問型・宿泊型)	利用者数	訪問型)676人 宿泊型)58人 (現状:令和2年度末) 利用者数増を目標とする (目標:令和7年度末)	訪問型)延602人 宿泊型)実370人 通所型)実309人	通所型産後ケアを追加したことや申請方法を見直したことにより、前年度と比較し登録件数と実利用人数が大幅に増加した。	健康推進課	順調 宿泊型は令和4年度の77人から370人へ順調に利用数が増加しており、引き続き、産後ケア事業のサービス形態や仕組みについて検討していく。
		009	オンラインによる妊婦面接の導入	利用率	4.20% (現状:令和4年度末)5.00% (目標:令和7年度末)	8.17%	自宅安静や入院が必要で外出が困難な妊婦がいるため、オンラインによる妊婦面接を実施しており、前年度と比較して利用率が増加した。	健康推進課	順調 オンラインによる妊婦面接は、体調面への不安軽減だけでなく、利便性向上にも繋がっており、順調に利用率を伸ばしている。
		016	多胎児家庭支援事業(移動経費補助)	申請件数	198件 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	103件	年度当初に未申請の対象者宛に勧奨通知を送付したほか、令和6年度から電子申請を開始した。	健康推進課	順調 令和2年の事業開始時は遡及申請が可能であったため件数が多かったが、それ以降も事業周知は徹底しており、満足度も高く、支援ニーズには概ね応えられている。
		026	子育て支援情報の発信	アクティブユーザー数(1日に1回アプリを開いた数)	利用者数増を目標とする (目標:令和7年度末)	102,818件	子どもの成長記録や予防接種スケジュール管理等の基本機能のほか、各児童館のおすすめ絵本の紹介を取り入れたことで、アクティブユーザー数が昨年度と比較して3,000件弱増加した。	子育て支援課	順調 「絵本のまち“板橋”」と関連付けながら、アクティブユーザーをさらに増やし、ユーザーのニーズに合わせた魅力ある情報発信の充実を図っていく。
		031	子どもなんでも相談	相談対応件数	69,058件 (現状:令和2年度末)78,000件 (目標:令和7年度末)	27,871件	相談対応件数は減少したものの、内容は重篤化もしくは長期化する傾向にあり、関係機関等との緊密な連携に務めた。	支援課	順調 昨年度比6,000件相談が増える中、子どもや保護者に寄り添った丁寧な対応ができており、引き続き、24時間365日なんでも相談を周知していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
I-2	誰もが希望する幼児教育・保育の支援	032	保育施設の整備	保育施設定員数	13,792人 (現状:令和2年度末) 14,278人 (目標:令和7年度末)	13,329人	令和4年に待機児童ゼロを達成して以降、欠員の問題が生じている中、新規整備は慎重に検討している。	子ども政策課 保育運営課	計画変更 令和4年から3年間待機児童ゼロを達成し、令和7年4月時点では再び待機児が7名発生したものの、欠員が多く生じている状況に変わりなく、引き続き慎重に検討していく。
		051	区立幼稚園での3歳児保育及び預かり保育の実施	預かり保育 延利用者数	延2,000人 (目標:令和7年度末)	延2,300人	保育利用の手引きや区ホームページに加え、チラシを作成し、入園説明会や保護者会などで周知したほか、多様化している保護者の働き方に応じて柔軟に利用できるよう、利用時間・料金を見直した。	学務課	順調 令和6年度末時点で目標を達成したが、令和7年度は令和6年度に比べ在園児数が減少しており、引き続き事業の周知に努めていく。
		053	保育士研修の充実	参加人数	2,910人 (現状:令和2年度末) 参加人数増を目標とする (目標:令和7年度末)	研修回数 145回 参加人数 4,054人	講義、保育実践報告、グループワーク、振り返り研修など、内容を充実させることで、保育の質の向上につなげることができている。また、Zoom研修を増やしたことで、受講者がより参加しやすい環境を整えた。	保育運営課	順調 Zoom研修の導入などにより、受講者が参加しやすい環境を整え、研修を充実させていく。
		054	幼稚園・保育園・小学校交流合同研修	参加園数	1回目は中止 2回目は動画配信 (現状:令和2年度末) 参加園数増を目標とする (目標:令和7年度末)	実施回数 2回 1回目 90園 2回目 93園	小学校教諭に保育園での子どもの生活を伝える講義をした後、近隣の保育園・幼稚園・小学校でグループワークを実施し、教員と保育士の交流の機会を提供することで、保・幼・小連携につなげることができた。	保育運営課	順調 保・幼・小間で情報交換の場を設けることで、子どもたちのスムーズな就学支援につなげていくため、今後も保・幼・小の合同研修を充実させていく。
II-1	子どもの命と健康を守ります	067	食育の推進	事業参加者数	740人 (現状:令和2年度末) 4,000人 (目標:令和7年度末)	6,997名	農業まつりや他課との連携イベント、野菜摂取量充足度推定機器を活用し、食育推進の普及を行った。	健康推進課	達成 令和6年度の時点で既に目標を上回る参加を得ており、引き続き、地域イベント等において、栄養や食生活についての情報を提供していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
II-1	子どもの命と健康を守ります	075	出張歯みがき指導	実施か所数	9か所 (現状:令和2年度末) 73か所 (目標:令和7年度末)	105か所	保育園等からの依頼に応じて抽選で実施しており、歯ブラシリサイクルで作られた手鏡を用いて歯みがきを練習し、口から始めるSDGsと環境保全について体験してもらった。出張指導とともに、資料提供と動画案内も実施している。	板橋健康福祉センター	達成 令和6年度は目標を上回る105か所に訪問できた今後も対面方式と動画等両方を活用した情報提供とフォローを進め、必要な時期に必要な情報が届くよう検討していく。
		079	予防接種	麻しん風しん混合第1期接種率	99.6% (現状:令和2年度末) 95.5% (目標:令和7年度末)	94.8%	未接種者へのはがきによる勧奨を行うなど、接種漏れのないよう周知した。	予防対策課	順調 ワクチンの全国的な供給不足により接種率が下がっていると考えられる。引き続き、接種対象者への適切な勧奨を進めていく。
II-2	子どもが安心・安全に暮らせる取り組み	090	げんきっ子トラフィックスクール	実施園数	66園 (現状:令和2年度末) 実施園数増を目標とする (目標:令和7年度末)	100園 2,323人	私立保育園園長会等で「げんきっ子トラフィックスクール」の実績や有効性を伝える取組等の効果によって、実施園数が増加している。	保育運営課	順調 実施園数が順調に伸びている。今後も、公私立園合同での実施等によってさらなる周知と成果向上を図っていく。
		093	自転車通行空間の整備	優先整備路線整備延長	16.6km (目標:令和7年度末)	7.5km (赤塚公園通り、ときわ通り、福寿通り、前野中央通り、大谷口通り、中丸通り、ほか)	関係機関と遅滞なく協議し、計画どおり整備を完了することができた。	土木計画・交通安全課	順調 優先整備路線を令和5年度2km、令和6年度7.5km、令和7年度7.1km整備予定である。
		096	公園のユニバーサルデザイン化	改修した公園数	4か所 (現状:令和2年度末) 7か所 (目標:令和7年度末)	5か所(令和6年度整備1か所)	山中児童遊園の改修にあたり、説明会やワークショップ、アンケート等を実施し、公園利用者のニーズに合った公園整備を進めている。	みどりと公園課	計画変更 残り2か所(板橋公園、四葉公園)は、令和8年度に整備を完了する計画へ変更した。引き続きユニバーサルデザインに配慮した公園整備を進めていく。
		100	板橋セーフティ・ネットワーク	協力事業者数	129事業者 (現状:令和2年度末) 155事業者 (目標:令和7年度末)	158事業者	ホームページやSNS、街頭キャンペーン、防犯講習会等を活用し、制度の周知に努めている。	防災危機管理課	達成 既に目標を達成している。引き続き、制度の周知に努めていく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
II-2	子どもが安心・安全に暮らせる取り組み	105	「板橋区版スマートフォン等を使うためのルール」の周知・啓発	リーフレット活用率	63.4% (現状:令和2年度末) 90% (目標:令和7年度末)	87.8%	板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム「スマまち」を通じて、保護者へダイレクトに情報を発信することができた。	地域教育力推進課	順調 親子で一緒に考え、取り組むきっかけを提供することで、保護者の意識向上や親子のコミュニケーション向上が図られている。引き続き、子どもや家庭の孤立化を防止し、家庭における教育力を高めていく。
		106	PTAと協働した安全対策事業	実施事業数	2事業 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	2事業	区立小学校PTA連合会と協働し、「こども110番クリアフォルダー」を作成・配付したほか、町会・自治会や板橋セーフティー・ネットワーク参加事業者などの関係機関・団体に対して、パトロール・見守り活動の強化を要請し、連携を強化することができた。	地域教育力推進課	達成 区立小・中学校PTA連合会と協力した「子どもを守ろう！合同パトロール」の実施を通じ、成果を上げている。さらに関係機関との連携を強化しつつ、持続可能性を見据えた効果的・効率的な事業実施手法を模索していく。
III-1	特に配慮が必要な子どもの健やかな成長を支援	112	障がい児通所支援	児童発達支援センター数	2か所 (現状:令和2年度末) 2か所以上 (目標:令和7年度末)	3か所	通所計画、指導計画を定めて日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練を実施し、心身障がい児の自立更生を支援した。	障がい政策課	達成 区内において児童発達支援センターを3か所設置している。今後はセンター間における連携を強化しながら、より充実した障がい児の通所支援体制の確保に努める。
		113	医療的ケア児の受入	実施園数	2園 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	5園 (高島平あやめ保育園・上板橋保育園に加え、令和6年度から坂下三丁目保育園・中板橋保育園・ゆりの木保育園を追加)	医療的ケア児に対する保育ニーズの高まりに対応するため、令和6年度から、区立保育園3か所を加え、計5園へ拡大することができた。	保育運営課	達成 今後も、区立保育園が医療的ケア児の受入に係るモデル園としての役割を果たしつつ、需要の動向を見極めながら、私立保育園への拡大等を検討していく。
		122	あいキッズにおける要支援児受入	受入可能施設数	51か所 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	44か所	会議などでの情報の共有、専門家による現場職員への助言など、児童の安全な受け入れに対する支援を行った。	地域教育力推進課	順調 引き続き、51か所すべてのあいキッズで要支援児の受入れ体制を確保していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
Ⅲ-1	特に配慮が必要な子どもの健やかな成長を支援	131	要支援児保育巡回指導	実施園数	129園 (現状:令和2年度末) 実施園数増を目標とする (目標:令和7年度末)	144園	新たに要支援児が在籍する保育園に対して、心理士を迅速に手配した。	保育サービス課	達成 要支援児に対する質の向上、適した保育の提供に向け、適切な指導・助言を行った。今後も継続していく。
		134	特別支援学級の設置	開設数 ※特別支援教室拠点校含む	36校 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	36校	特別支援学級・特別支援教室の教員について、指導の工夫改善をめざした研修をそれぞれ年3回実施しているほか、特別支援学級では、指導方法の情報共有のため、担任会を定期的に実施している。	指導室	達成 特別支援学級、特別支援教室ともに在籍児童生徒数が増加している状況を踏まえて、学級開設等の検討を進めていく。
Ⅲ-2	貧困や虐待から子どもを守ります	137	母子・父子自立支援プログラム策定事業	策定件数	7件 (現状:令和2年度末) 15件 (目標:令和7年度末)	25件	令和6年度は給付金を利用するためにプログラムの策定を要件として加えたこともあり、例年より新規策定件数が増加した。	生活支援課	順調 プログラムを策定することで、困難を抱える父母の自立に向けた伴走型支援を展開できているため、今後も継続していく。
		146	子どもの学習・生活支援事業「まなぶーす」	利用登録者数	134人 (現状:令和2年度末) 150人 (目標:令和7年度末)	155人	教室の受け入れ態勢を強化したこともあり、令和6年度は昨年度より利用登録者数が増加した。	生活支援課	順調 利用者は増加傾向であり、令和7年度以降は受け入れ人数を拡充している。今後は利用登録者数のさらなる増加に向けて関係機関等への周知を強化していく。
		149	養育費確保支援事業	申請件数	30件 (目標:令和7年度末)	41件	区の戸籍窓口や板橋区公証役場にチラシを置いているほか、ひとり親家庭相談窓口主催のセミナーで、離婚前の方へ養育費確保支援事業を周知した。	生活支援課	順調 申請は増加傾向にあり、養育費の継続した履行確保に寄与した。ADR利用費用補助は初めて申請があり、養育費立替保証料補助についても、引き続きあらゆる機会・媒体を通じて周知していく。
		162	子ども家庭支援事業	相談対応件数	474件 (現状:令和2年度末) 相談対応件数増を目標とする (目標:令和7年度末)	1,536件(新規受理件数のうち虐待を除く)	保護者の病気や経済状況など、家庭環境に何らかの課題がある子育て家庭の相談が増加傾向にある。子ども家庭総合支援センター内での情報共有及び支援策の組織的な検討につなげている。	支援課	達成 平日の開所時間以外にもコールセンターで受電対応するなど相談体制を確保し、迅速な対応と早期解決を図っている。引き続き、各相談に丁寧に対応していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024) 年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7 (2025)年度目標				
III-2	貧困や虐待から子どもを守ります	163	子ども家庭援助事業	児童虐待受理件数	1,300件 (目標:令和7年度末)	1,131件	警察や学校、病院等の関係機関と定期的に意見交換会を行い、児童虐待が生じた場合や疑いがある場合の初動対応について、それぞれの役割を確認するとともに、情報交換を行い、連携を深めている。	援助課	順調 関係機関や近隣住民からの通告や相談は、今後も増加していくことが見込まれる。迅速で適正な初動対応が行えるよう、引き続き、関係機関等と綿密に情報交換を行っていく。
		165	里親事業	養育家庭登録数	22件 (現状:令和2年度末) 44件 (目標:令和7年度末)	32件	毎月1回地域を変えての里親説明会や体験発表会、区内小中学校へのチラシ配布、区内掲示板へのポスター掲示、子どもわくわくフェスタや区民まつりへのブース出展など様々な方法で普及啓発を行った。	援助課	順調 令和5年度と比較し、4件純増となった。新たな取組として、説明会の申込みについて電子申請を可能とするほか、区内商業施設での普及啓発活動回数を増やしていく。
IV-1	これからの社会を生き抜く力を養成	167	読み解く力の促進	実施状況	対象の全児童・生徒実施 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	74校	全区立学校において、教育課程に位置付けるよう指導した。板橋のiカリキュラム(読み解く力)活用実践校として7校を指定し、「活用実践校報告会」を年間11回開催した。リーディングスキルテストを実施し、児童生徒の実態把握に努めた。	指導室	順調 板橋のiカリキュラム活用実践校を高島地区から1校指定する。自己調整型の学習等、求められる授業のあり方と、「読み解く力」の関係性を整理し、わかりやすく発信していく。
		171	ロボットプログラミング教室の実施	実施回数	34回 (現状:令和2年度末) 52回 (目標:令和7年度末)	146回	参加者の成熟度に合わせられるよう初級・中級・上級の3段階で教室を設定した結果、多数の応募があり、目標値を上回る成果を上げることができた。	生涯学習課	達成 教室をクラス分けすることで、興味関心の段階からコア層まで取り入れられた点が非常に良かった。今後は、当日キャンセルへの対応や参加者上限などを検討をしていく。
IV-1	これからの社会を生き抜く力を養成	175	子ども向け美術普及	ひよこ・たぬきアトリエ参加者数	0人※事業中止 (現状:令和2年度末) 144人 (目標:令和7年度末)	127組349人 (親176人、子173人)	多くの方が参加しやすいよう、家族単位での参加を可とし、ゆとりを持った定員設定とした結果、講師の目が行き届き、会話を交えた双方向の講座とすることができた。	文化・国際交流課	順調 令和4年度からブランド戦略の1事業と位置付けたため、「こどもアトリエ」に事業名を変更し、以降、軌道に乗り実施できている。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
IV-1	これからの社会を生き抜く力を養成	209	図書館を使った調べる学習コンクール	参加校数	51校 (現状:令和2年度末) 66校 (目標:令和7年度末)	区立小学校 44校 区立中学校 3校 私立小学校 1校	ホームページ・SNSで調べる学習相談会などを情報発信した。また、調べ学習の進め方動画を配信し、自由に閲覧できる環境を整えた。学校に対しては、出張授業を行い、児童に調べる学習の説明を行った。また、図書館内で相談会を実施し、調べる学習の支援を行った。	中央図書館	順調 コンクール参加校数は若干減少しているが、個別相談会の参加人数は増加している。出張授業は減らしていく方向であるが、代わるものとして、調べ学習の進め方を動画配信し、周知にも力を入れていく。
IV-2	自信をもって大人へと成長する子どもと家庭を支援	211	いたばし若者サポートステーション	新規利用者数	71人 (現状:令和2年度末) 140人 (目標:令和7年度末)	72人	毎月図書館など公共施設・就労支援機関・保健福祉センター・居場所支援機関へパンフレット・セミナー予定表・見学会チラシを配布したり、広報いたばし・区の公式LINE・町会掲示板へのポスター掲示・SNSやHPへ誘導を行ったりすることで周知に努めた。自立相談支援機関とコンタクトを取り、情報共有や相互リファーを適宜実施した。	産業振興課	順調 前年度と比べて10代の新規登録が9%増加しており、10代の高校中退児童と保護者が来所するケースが目立った。20代は変わらず、30代は16%減、40代は10%増でハローワークからのリファーされたケースが多い。広報に合わせて施設見学会や保護者対象セミナーを開催するなど、引き続き周知に努めていく。
		213	中学・高校生の子育て体験事業	ボランティア受入延べ人数	0人※事業中止 (現状:令和2年度末) 延500人 (目標:令和7年度末)	中学生:118人 高校生:9人	中学生が保育士の仕事を経験することや幼児と触れ合う機会を通じて、将来の職業選択の一つとして検討できる新しい視点を提供できた。	保育運営課	順調 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行してから、参加者数は回復傾向にある。引き続き、周知方法や実施方法等の見直しを図りながら、事業を展開していく。
		220	不登校改善重点校事業の実施	重点校数	5校 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	15校	学校内に居場所を整備するよう求めるとともに、中学校3校において運営委託を実施したほか、都事業の「学校と家庭の連携推進事業」を活用し、中学校5校、小学校3校で支援員を配置した。中学校においては、区独自にスクールカウンセラーを配置し、総合的に生徒をケアする体制を整備した。	指導室	達成 問題行動調査の速報値では、不登校児童生徒数が減少している。また、令和7年度は運営委託を中学校11校で実施するほか、「学校と家庭の連携推進事業」を中学校11校、小学校3校で実施する。今後も中学校における運営委託の拡大を検討していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
IV-2	自信をもって大人へと成長する子どもと家庭を支援	223	板橋フレンドセンター(適応指導教室)	登録児童・生徒数	148人 (現状:令和2年度末) 180人 (目標:令和7年度末)	185人	様々な体験教室等行事の実施や、プログラミングロボットを新規に購入し、学習環境を充実させるなど、通級生の満足度の向上に向けて取り組んだ。保護者交流会も昨年度に引き続き実施し、保護者間のつながりにも働きかけた。	教育支援センター	順調 昨年度よりも登録児童・生徒数は減少したものの、区内の不登校児童は増え続けており、フレンドセンターの重要性はますます高まっている。今後も、一人ひとりの課題に寄り添い、安心して過ごせる居場所として多様な学びを提供し、社会的自立に向けて支援していく。
		224	スクールソーシャルワーカーの活用	訪問延べ回数	1,213回 (現状:令和2年度末) 1,600回 (目標:令和7年度末)	5,814回	令和5年度からスクールソーシャルワーカーを中学校に配置する拠点校型にし、校内会議等に出席することで、多様な情報が得られ、支援ニーズも把握しやすくなったため、表面化しづらい課題にも対応できている。	教育支援センター	順調 中学校では、教員とスクールカウンセラーが連携し、課題に対して迅速に支援できるようになっている。今後は、小学校への働きかけや、より多くのケースに対応できる体制づくりが必要である。
V-1	子どもが誇りを持てるいたばし	231	コミュニティ・スクール委員会の運営	学校経営にiCSを取り入れている割合	46.2% (現状:令和2年度末) 70% (目標:令和7年度末)	58%	板橋区コミュニティ・スクール(iCS)の理念を浸透させるため、アドバイザー派遣、iCSフォーラムやCS委員向け研修等を行うなど、関係者の意識向上につながる取組を行った。また、広報誌(iCSレター)を年6回発行し、好事例の情報発信を行った。	地域教育力推進課	順調 全校へのコミュニティー・スクール委員会設置から5年経過し、少しずつ増えてきている。令和6年度から新たにキックオフミーティングも開催しており、学校支援地域本部と両輪・協働の体制づくりをさらに強化していく。
		232	学校支援地域本部事業の推進	学校支援ボランティア数	68,823人 (現状:令和2年度末) 102,200人 (目標:令和7年度末)	69,781人	地域コーディネーター情報交換会等を開催し、好事例を共有するとともに、統括コーディネーター等によるアドバイスをを行った。また、統括コーディネーターが新任校長の学校を訪問し、学校支援地域本部の活用方法について支援した。	地域教育力推進課	順調 令和7年度から統括コーディネーターを4名に増やすなどサポートを強化する。また、コーディネーターの横のつながりも広げ、全校の底上げを図り、コミュニティ・スクール委員会と両輪・協働の体制を構築できるように各学校を支援していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024)年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7(2025)年度目標				
V-1	子どもが誇りを持てるいたばし	234	子育て支援員の活動支援	子育て支援員養成講座修了者数	0人※事業中止 (現状:令和2年度末) 毎年70人 (目標:令和7年度末)	—	※事業廃止(R6)	保育運営課	計画変更 子育て支援員養成講座の受講者数は年々減少し、また、東京都において、年間を通じて当該講座を実施しているため、区民への影響が少ないことに鑑み、令和6年度をもって本事業を廃止した。
		238	職場体験学習(中学生向けインターンシップ)	実施校数	3校※コロナの影響による (現状:令和2年度末) 22校 (目標:令和7年度末)	22校	地域にある様々な業種の企業や団体、教育関連機関に協力をお願いした。また、職場体験の効果を最大限に高めるために、事前事後学習の充実を図った。生徒たちの振り返りでは、「将来の夢が明確になった」など働くことについて前向きに考えるようになった。	指導室	順調 職場体験については、今後も、総合的な学習の時間や特別活動の目的や内容に沿い、区立中学校全校で実施していく。
		240	若者の居場所づくり事業	i-youth利用者が企画運営に携わる事業・イベント数	9事業 (現状:令和2年度末) 事業・イベント数増を目標とする (目標:令和7年度末)	7事業 (ダンスフェスタ1回、ミュージックコンサート2回、まなフェスi-youth企画「i-youth食堂」1回、シーズンコンサート3回)	中高生・若者が自ら事業の企画運営に携わり、仲間と共に創造する楽しさを得られるよう事業の運営方法を工夫した。また、生涯学習センターで活動している方々が事業に参加できる機会を一部提供し「世代を超えた交流」も実現できた。	生涯学習課	順調 中高生・若者のi-youth事業への主体的な参加が促され、事業を中高生・若者の企画・運営で実施する文化が形成されつつある。今後も中高生・若者主体の事業づくりを支援していく。
		245	図書館サポーターの育成	講座数	3回 (現状:令和2年度末) 8回 (目標:令和7年度末)	8回	多様な子どもたちへのサポートを推進するための講座を実施した。サポーター交流会を開催し、サポーター同士の交流・情報交換の機会を設けた。	中央図書館	達成 各講座とも概ね定員を超える応募があり、平均満足度は98%を超えた。引き続き図書館サポーター(ボランティア)の育成・技術向上のための講座を実施していく。

いたばし子ども未来応援宣言2025「実施計画2025」計画事業進捗状況一覧

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6(2024) 年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	計画策定時と令和7 (2025)年度目標				
V-2	「子育てするなら”いたばし”で」を実現	251	いたばしグッドバランス推進企業表彰	応募企業数	4社 (現状:令和2年度末) 5社 (目標:令和7年度末)	応募企業数8社	産業振興公社、板橋法人会、板橋産業連合会、東京商工会議所板橋支部といった関係機関と連携し、周知した。令和6年度から、受賞企業紹介のための展示用パネルを作成し、各種事業で掲示する取組を開始した。	男女社会参画課	順調 令和6年度は目標数を上回る8社の応募があり、順調に事業を実施できた。今後も産業振興公社等と連携して制度の周知を図り、区内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、家庭生活と仕事を両立しやすい環境づくりを進めていく。
		269	板橋こども動物園	利用者数	341,754人 (現状:令和2年度末) 600,000人 (目標:令和7年度末)	563,892人	令和6年度にPVを作成し、動物展示の工夫やこども動物クラブの取組み等、魅力発信に力を入れた。ホームページでの配信や区役所内モニターで放映するなど、より多くの方に見てもらえるよう工夫した。	みどり公園課	順調 指定管理者と連携し、こども動物クラブ限定ポニー教室の開始や、ポニー引馬の対象年齢引き下げなど、イベントやプログラムを工夫し、利用者数の増加をめざす。
		271	i-youth(あい・ゆーす)	利用者数	14,346人 (現状:令和2年度末) 40,000人 (目標:令和7年度末)	i-youth利用者 27,532人 (大原 15,966人、成増 11,566人)	若者の居場所づくり事業参加者に対し、練習場所や交流機会の提供などを通じ、施設近隣に住む中高生以外の利用にもつなげたほか、未来の中学生である小学生の利用促進にも取り組んだ。	生涯学習課	順調 より良い青少年の居場所づくりの検討と運営に取り組むべく、引き続き情報発信や環境整備を進める。